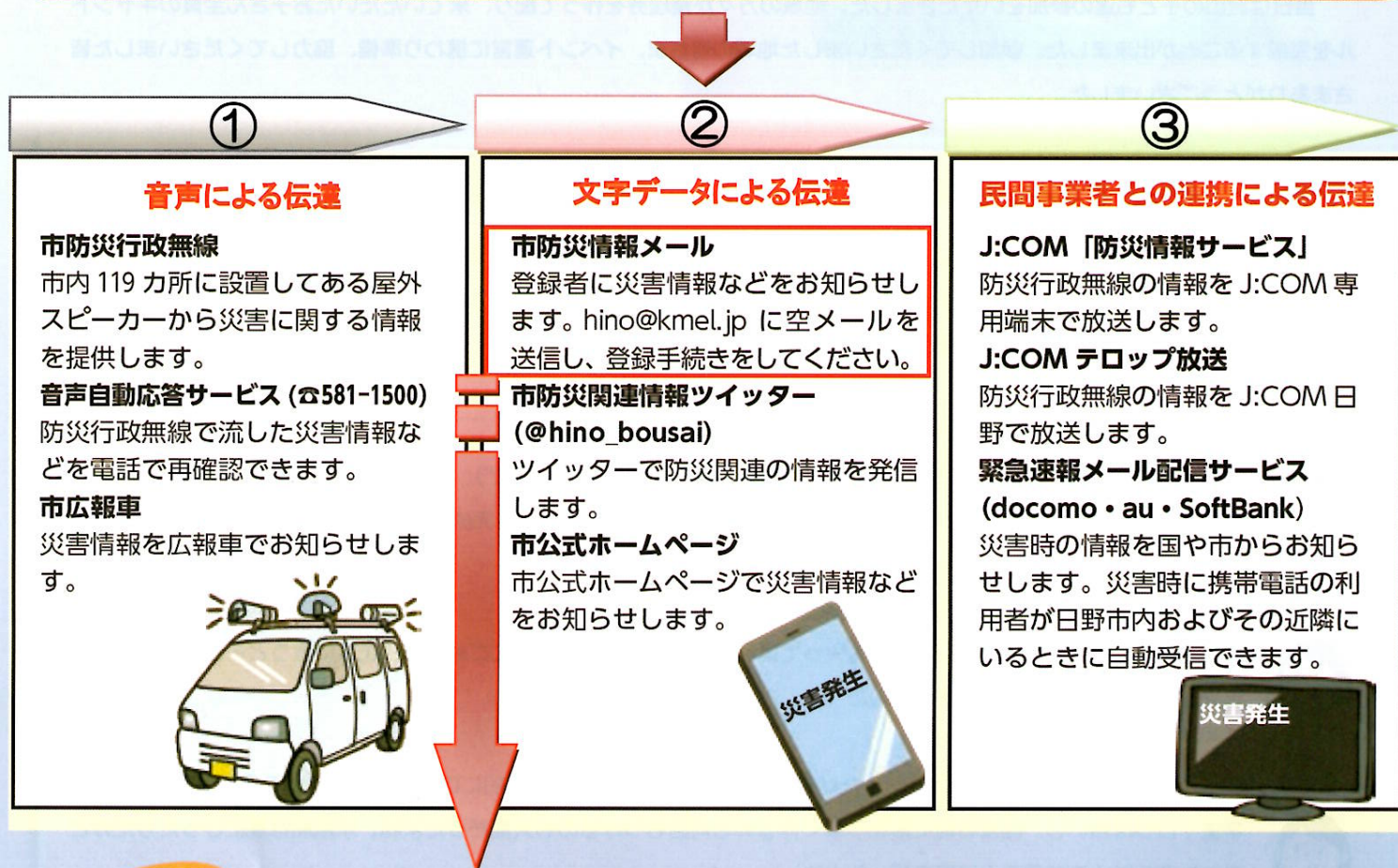


# 災害時等の市からの情報発信について

## 【市からの情報伝達手段～ご確認ください】

災害等の際に、市民の皆様へ「正確な情報」を「迅速」にお伝えするために市では下記の情報伝達方法を整備しています。

今一度ご確認ください、いざという時に備えましょう。



## お願い

市では様々な手段で市民の皆様へ情報発信を行いますが、音声による伝達は限界があるため、「市防災情報メール」の活用を推進しています。

市防災情報メールはお持ちの携帯電話に直接メール配信されるため、市からの情報を正確かつ迅速にお伝え出来ます。是非、[hino@kmel.jp](mailto:hino@kmel.jp) に空メールを送信し、登録手続きをお願いします。

バーコードリーダー付きの携帯の方はQRコードを読み取ってそのまま送信してください。



### ※注意事項

日野市メール配信サービスは、下記のアドレスから送信します。  
[mail-haisin@city.hino.lg.jp](mailto:mail-haisin@city.hino.lg.jp)

※ 迷惑メールの受信拒否等の設定をしていると、確認メールが受け取れない場合があります。なお、携帯電話の受信機能についてご不明な点がございましたら、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

問合せ先 日野市防災安全課 042-585-1100



■発行日/平成 28 年 1 1 月  
■発行・編集/日野市企画部地域協働課  
〒191-0011 日野市日野本町 1-6-2  
■電話/042-581-4112

東宮下みんなのひろば  
参加者のみなさん

## アクションプラン、始動!!



各中学校区では、地域の課題を地域懇談会で話し合い、克服するためのアクションプランを考え、実行委員会で検討し、そして実施いたしました。

平山中地区では、防災・高齢化・空き家などの課題がある中、課題解決には、まず繋がりが必要と考え、地域の人々が交流するための会議、「平山わの会」を作り、課題について話し合っています。7月の回では、市の防災安全課の職員に来てもらい、平山中地区の災害リスクについて話し合いました。今後もタイムリーな話題を取り上げ、みんなで懇談していきたいと思っています。

参加は自由です。興味のある方は地域協働課(電話 042-581-4112)までご連絡ください。



みんなのひろば  
懇談風景



地元の農家小林和男さんの畑でさつま芋ほり



# 東宮下みんなのひろばとは？

平成28年5月にできたばかりの『東宮下みんなのひろば』は、**みんなが集まれる居場所**です。毎月第2火曜日 午前10時30分から正午、東宮下地区センター（東平山3-11-20）で楽しんでいます。子育て世代の親と子、高齢者、大学生など地域に関わるいろいろな人が集まり、お茶を飲んだり、おしゃべりしたり・・・義務ではなく、ゆるやかに繋がっています。やさしい気持ちになれる温かい場所です。年数回、「自らも楽しめる」プログラムを実施しながら、社会福祉の基盤、健康の基盤として、ゆっくり地域のつながりの輪を拓けています。



●東宮下自治会 谷口会長

子育て世代お母さんの交流のきっかけ作りを毎回実施しています。沢山の方が参加されています。

また、並行して、着付け教室、芋掘り体験、女子学生さんの手作り教室などなど。そして何より、同じ空間で誰かがお茶を楽しんでいる。色々な人が気ままに楽しんでいます。初めての方も大歓迎です。是非覗いてみてください。

●NPO 法人日野子育てパートナーの会 森久保さん

東宮下地区センターで、温かいお茶を飲みながら、色々な世代の人々が「つながり」を拓けています。どなたでも遊びに来てください。ちらっと中央線も見えます。ゆっくりカフェタイムを楽しみませんか。



●親和会（老人クラブ）清水さん（写真左 黒い洋服の方）

一度来れば楽しいところです。

ぜひご近所の人に声掛けして、みなさんで来てください。

●親和会 吉村さん（写真右 オレンジの洋服の方）

素敵な取り組みですが、まだまだ知らない人が多いように感じます。少しでも多くの人に知ってほしいです。

●東宮下自治会 半澤副会長

この地域にこんなにたくさんのお子さんがいたのかと思うぐらい、お子さんがたくさん来ています。

このひろばでは、無理に多世代交流をしていないところが良いところです。

基本は同世代の人と一緒にお茶を飲んでいますが、違う世代の人と同じ時間を共有することが大事です。

お茶を飲んでいるときに、ちょこちょこ子どもが来てくれるのがとても嬉しいです。



8月に行われた『みんなのひろば』のイベント内容は

## キャンドルづくり！

今回のキャンドル作りは実践女子大学の学生と東宮下地区の方々と一緒に行いました。水風船に溶かしたろうをつけ、そのあと水につけ冷やす。この繰り返しで形を整えていきます。ろうを完璧に固めたら水風船を割り、最後に自分が好きな形の色紙やビーズをつけて完成です！



当日は沢山の子ども達の参加をいただきました。地域の方々が整理券を作って配り、来ていただいたお子さん全員のキャンドルを完成することが出来ました。参加していただきました地域の皆さま、イベント運営に携わり準備、協力していただきました皆さまありがとうございました。

## 今回の「東宮下みんなのひろば」アンケートへ 学生からのコメント

30代の地域の方：子どもが楽しめていたようなので良かったです。下の子をまた連れてきたいです。



学生：楽しめていただけて良かったです！下の子は何歳くらいでしょうか。小さいお子さんでも楽しんでいただけるような企画をまた一緒に出来ればと思います。

10代のお子さん：キャンドルを作るのは大変だったけど、完成してうれしかったです。



学生：ろうを綺麗に重ねてつけるのは時間もかかるし難しかったよね (> <)でも自分でオリジナルのキャンドルを作れたのはいい思い出になったかな。完成できてよかったね！

10代のお子さん：キャンドルが作れてよかった。今度は花火を作りたい。



学生：事前に配っていたプリントには花火って書いてあったもんね、本当にごめんね。正直に言うと・・・お姉さんたち、花火を作る実験に失敗してしまったんだ (; ;)

10代のお子さん：キャンドルを作るのは大変だったけど無事に作れてよかった。水風船にろうを付けるという発想がすごかった。



学生：ろうは熱いし、固まる前に形をうまく作るのも何回もつけるのも大変だったよね。水風船は夏にぴったりだけどキャンドルづくりに使うとは驚きだったよね。

### 学生の声

キャンドル作りは実際に自分が作ったこともあり、いい思い出になったので、夏休みの思い出作りにと企画しました。キャンドルは短時間で作り、安全面に気を付ければ小さいお子さんも作ることができるので、様々な年齢の人に楽しんでもらえたと思います。お子さんをはじめ、親御さんにも喜んでもらえて良かったです。また地域の方々の協力のおかげで、成功したと思っています。ありがとうございました。(実践女子大学 現代生活学科3年 佐藤美希)

夏休みのイベント企画をしたときにどのくらい子どもたちが来てくれるだろうかと不安でしたが、当日は沢山の子ども達、親御さんに来ていただき驚くとともにうれしかったです。地域の方々の支援や親御さんたちのサポートもあり何とか最後までやり遂げることが出来ました。東宮下地区の皆さま本当にありがとうございました。(実践女子大学 現代生活学科3年 太田亜紀乃)

みんなのひろばでは、子ども達と一緒に作業するうえで、実際に運営してみてもっと改善できる部分があると感じました。また参加者の声が聞けて、とてもやりがいを感じる事が出来ました。今回、このような企画ができたのも、ご協力いただいた地域の方々のおかげです。ありがとうございました！(実践女子大学 現代生活学科3年 松前友希代)